

令和6年度 志木市立志木第二小学校 学校経営方針

令和6年4月2日

校長 佐々木 幸

1 学校教育目標

「進んで学ぶ子」 「心の豊かな子」 「体をきたえる子」

2 基本理念

生き生きと児童の瞳輝き 笑顔あふれる志木二小

3 目指す学校像

- ・ 子供の学びを地域とともに支える学校



しきにん

4 目指す児童像

- ・ 夢や希望をもち、粘り強く挑戦を続ける子
- ・ 多様性を認め合い、共に高め合いながら成長する子
- ・ 自信や誇りをもって社会に貢献し、未来を拓く子



ニッパ

5 目指す教師像

「学び実践し続ける教職員」

- ・ 子供の姿を大事にしながら、指導力を磨き続ける教職員
- ・ 互いに切磋琢磨し、同僚性を重んじる教職員
- ・ 児童、保護者、地域の方から信頼される教職員

志木第二中学校区小中一貫教育推進計画（令和7年度より実施）より

教育目標

「共生」 思いやりのある子
「自主」 進んで学ぶ子
「自律」 健やかな子

目指す学校像

子供の学びを
地域とともに支える学校

目指す児童生徒像

- ・ 夢や希望をもち、粘り強く挑戦を続ける子
- ・ 多様性を認め合い、共に高め合いながら成長する子
- ・ 自信や誇りをもって社会に貢献し、未来を拓く子

目指す教師像

- 「学び実践し続ける教職員」
- ・ 子供の姿を大事にしながら、指導力を磨き続ける教職員
 - ・ 互いに切磋琢磨し、同僚性を重んじる教職員
 - ・ 子供、保護者、地域の方から信頼される教職員

6 経営の基本方針

児童一人一人が生き生きと活動し、知・徳・体をバランスよく身に付け、確実に伸ばすことのできる、活力に満ちた質の高い学校づくりを目指す。

(1) 変える勇気と変わる覚悟

これまでの成果を継承するとともに従前主義や前年踏襲を退歩と捉え、小さなことでも課題解決と改善を図るための検討、工夫に熱意と創意をもって組織的・継続的にP D C Aマネジメントサイクルに取り組む。

(2) 豊かな学びで未来を拓く

学習指導要領の確実な実施とともに、カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上、主体的対話的で深い学びによる授業改善などを通し、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組む。

(3) 学ぶにふさわしい学習環境

児童が、安心して学べる学校づくりに向け、教育環境の点検及び整備に取り組み、インクルーシブ教育の推進や、いじめ・不登校の早期対応・早期解消を目指し、決して誰一人取り残さない教育の推進に努める。

(4) 学校・家庭・地域の連携

地域とともにある学校づくりを推進するため、H P・学級通信等を通し、積極的に情報を発信するとともに、コミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域・関係機関との連携を一層深める。

(5) チーム志木二小

児童・保護者・地域から信頼される学校職員であるため、教職員事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質の向上に取り組むとともに、職員の健康と安全に配慮した学校運営を推進する。

7 令和6年度の重点（本校の諸課題 より）

（1）非認知能力の育成

- ①特別活動の充実・・・「他者とつながる力」の育成
- ②総合的な学習の時間の充実・・・「自分を高める力」の育成
- ③道徳教育の充実・・・「自分と向き合う力」の育成
- ④読書活動の充実・・・「想像力・先を見通す力」の育成

※点数にできない力(自己効力感・意欲・向上心・自信・自尊感情・自制心・忍耐力・回復力・共感性・コミュニケーション力・協調性・・・など)の育成に取り組む。

（2）小中一貫校への円滑な移行

- ①志木四小との同学年交流や児童会・委員会活動等の交流、及び教職員間の交流を、意図的・計画的に行い、小小連携を強化していく。(特に、1～4年生において。)
- ②志木二中との、学習指導・生徒指導・特別支援教育における連携・交流を発展させるとともに、教職員間の交流を計画的に実施する。

※令和7年度から実施する小中一貫教育推進計画。志木第二中学校区の3校で、連携・交流を深め、一体となって児童生徒の育成に努める。

8 令和6年度のチャレンジ（学校評価・今日的教育課題 より）

（1）教育DXチャレンジ

- ・児童用デジタル教科書（算数）を5・6年生の授業に活用し、研究を進める。
- ・タブレット端末を利用したデジタルドリルや作品の相互評価等を行う。クラウド上に蓄積されたスタディ・ログを活用し、学習状況の把握による苦手分野やつまずきへの対応で、個別最適な学びにつなげる。
- ・高度に発展するデジタル社会における「情報モラル」の重要性を鑑み、家庭との連携・協力のもと、意図的・計画的に情報モラル教育を推進する。

（2）体力向上チャレンジ

- ・埼玉県目標「運動好きの子供を増やす」に迫る取組の実施
- ・体育的常時活動の充実（全校鬼ごっこ、なわとびキャンペーン、大縄大会等）

（3）保護者参画事業チャレンジ

- ・各学年での親子レクを年間1回以上実施する。(授業参観・懇談会にて)
- ・保護者ボランティア活動への登録要請と実施、並びにPTAとの連携
(学校応援団活動への統合を念頭に「志木二小サポーター制度」導入検討)